

学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる人間の育成

豊かな体験活動を通して児童の内面に根ざした道徳性を養い、自己教育力の育成及び基礎基本の指導の徹底と個性を生かす教育の充実に努めるとともに、健康で安全な生活をおくるための基礎を培う。

目指す学校像(ビジョン)

○ 心が通いあい、来るのが楽しくて、学ぶにふさわしい学校

1 目指す学校像

- 基礎基本を重視し個性を伸ばす教育が推進される学校
- 心の教育が充実した学校
- 体の教育が充実した学校

2 目指す子ども像

- 自ら学ぶ子ども(基礎基本の定着、自ら学び考える、個性の伸長)
- 互いに認め合う子ども(人間尊重、思いやりの心、豊かな感性)
- 明るく健康な子ども(健康の増進、安全の確認、食育ならびに体育活動の重視)

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価規準			
				努力指標	成果指標		
学力の向上	基礎・基本の学力の定着を図るとともに、子どもたちが自ら学ぶ授業づくりを進める	学び合いを通して、思考力・表現力を高める授業づくりを進める	協同学習を通して、思考力・表現力を育てる指導方法を工夫する 【研修】	4	算数科を対象とした授業公開(授業観察を含む)を行い、思考力・表現力を育てる協同学習の場を効果的に取り入れた授業づくりを行う。教員の80%以上が達成。	4	自分の考えを根拠を明らかにして表現できる児童の割合が80%以上。
				3	算数科を対象とした授業公開(授業観察を含む)を行い、思考力・表現力を育てる協同学習の場を効果的に取り入れた授業づくりを行う。教員の70%以上が達成。	3	自分の考えを根拠を明らかにして表現できる児童の割合が70%以上。
				2	算数科を対象とした授業公開(授業観察を含む)を行い、思考力・表現力を育てる協同学習の場を効果的に取り入れた授業づくりを行う。教員の60%以上が達成。	2	自分の考えを根拠を明らかにして表現できる児童の割合が60%以上。
				1	算数科を対象とした授業公開(授業観察を含む)を行い、思考力・表現力を育てる協同学習の場を効果的に取り入れた授業づくりを行う。達成した教員が全体の60%未満。	1	自分の考えを根拠を明らかにして表現できる児童の割合が60%未満。
	基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。	児童の実態に応じたステップアップタイムの内幼を考え、計画的に進める。学年便り等で主な内容を伝える。保護者に参観してもらう機会を設ける。 【教務】	4	週3回のステップアップタイムを充実するとともに、計画通り、継続して取り組むことができる。教員の80%以上が達成。	4	学期末の評価テストで(1~4年生)正答率80%以上の児童、「英単語に慣れ親しむことができた」(5・6年生)という割合が80%以上。	
			3	週3回のステップアップタイムを充実するとともに、計画通り、継続して取り組むことができる。教員の70%以上が達成。	3	学期末の評価テストで(1~4年生)正答率80%以上の児童、「英単語に慣れ親しむことができた」(5・6年生)という割合が70%以上。	
			2	週3回のステップアップタイムを充実するとともに、計画通り、継続して取り組むことができる。教員の60%以上が達成。	2	学期末の評価テストで(1~4年生)正答率80%以上の児童、「英単語に慣れ親しむことができた」(5・6年生)という割合が60%以上。	
			1	週3回のステップアップタイムを充実するとともに、計画通り、継続して取り組むことができる。達成した教員が全体の60%未満。	1	学期末の評価テストで(1~4年生)正答率80%以上の児童、「英単語に慣れ親しむことができた」(5・6年生)という割合が60%未満。	
<p>【設定理由】※本校の努力事項の取り組みに最も深く関わる内容であり、予防的生徒指導の協同学習とも深く関わることから、これらの目標を重点目標とし、取り組みを進めていきたい</p>							

豊かな人間性の育成	子どもが安心して生活できる場づくりを進める	異学年交流を通して、仲間同士で相互に支え合う活動を進める	「行事の取組や児童会活動、総合的な学習の時間」等での異年齢間での児童同士の相互援助的な活動を実施する。 【生活】	4	異年齢集団での交流活動を積極的に推進する。教員の80%以上が達成。	4	「人と進んで関わることができるようになった」児童の割合が80%以上。
				3	異年齢集団での交流活動を積極的に推進する。教員の70%以上が達成。	3	「人と進んで関わることができるようになった」児童の割合が70%以上。
				2	異年齢集団での交流活動を積極的に推進する。教員の60%以上が達成。	2	「人と進んで関わることができるようになった」児童の割合が60%以上。
				1	異年齢集団での交流活動を積極的に推進する。達成した教員が全体の60%未満。	1	「人と進んで関わることができるようになった」児童の割合が60%未満。
	ライフスキル教育等の取組を通してよりよい人間関係づくりを進める	「学級活動の時間や道徳の時間」等において、年間6時間以上のライフスキル教育（ソーシャルスキル、コミュニケーションスキル等の対人関係に係るスキル教育）を行う 【研修】	4	教育委員会より配布された指導案集並びに資料を活用したライフスキル教育を実施した。教員の80%以上が達成。	4	「友達が困っているときには進んで助けることができる」児童の割合が80%以上。	
			3	教育委員会より配布された指導案集並びに資料を活用したライフスキル教育を実施した。教員の70%以上が達成。	3	「友達が困っているときには進んで助けることができる」児童の割合が70%以上。	
			2	教育委員会より配布された指導案集並びに資料を活用したライフスキル教育を実施した。教員の60%以上が達成。	2	「友達が困っているときには進んで助けることができる」児童の割合が60%以上。	
			1	教育委員会より配布された指導案集並びに資料を活用したライフスキル教育を実施した。達成した教員が全体の60%未満。	1	「友達が困っているときには進んで助けることができる」児童の割合が60%未満。	
まちぐるみによる教育の推進	子どもと地域の方とのよりよいかかわりを図る	地域の教育力を積極的に活用した教育活動を推進する。	各学年1回以上ゲストティーチャーを招いて学習を行う。学年便り、学校便りで事前・事後の報告をする。 【教務】	4	ゲストティーチャーとして地域の方を招き、「地域の教育力を活用した授業」を推進する。教員の80%以上が達成	4	「梅林」のことを知る学習や地域の人といっしょにする学習が楽しいと感じている児童の割合が80%以上。
				3	ゲストティーチャーとして地域の方を招き、「地域の教育力を活用した授業」を推進する。教員の70%以上が達成。	3	「梅林」のことを知る学習や地域の人といっしょにする学習が楽しいと感じている児童の割合が70%以上。
				2	ゲストティーチャーとして地域の方を招き、「地域の教育力を活用した授業」を推進する。教員の60%以上が達成。	2	「梅林」のことを知る学習や地域の人といっしょにする学習が楽しいと感じている児童の割合が60%以上。
				1	ゲストティーチャーとして地域の方を招き、「地域の教育力を活用した授業」を推進する。達成した教員が全体の60%未満。	1	「梅林」のことを知る学習や地域の人といっしょにする学習が楽しいと感じている児童の割合が60%未満。
	登下校時を中心に出会った人とよりよい関わりができる子どもを育てる	登校指導や一斉下校であいさつやマナーについて指導する 【生活】	4	あいさつの意義や様子についての学級指導を行い、登校指導や下校指導時に積極的な指導を行うことができた。教員の80%以上が達成。	4	登下校時や地域で自分から進んであいさつができる児童の割合が80%以上。	
			3	あいさつの意義や様子についての学級指導を行い、登校指導や下校指導時に積極的な指導を行うことができた。教員の70%以上が達成	3	登下校時や地域で自分から進んであいさつができる児童の割合が70%以上	
			2	あいさつの意義や様子についての学級指導を行い、登校指導や下校指導時に積極的な指導を行うことができた。教員の60%以上が達成。	2	登下校時や地域で自分から進んであいさつができる児童の割合が60%以上。	
			1	あいさつの意義や様子についての学級指導を行い、登校指導や下校指導時に積極的な指導を行うことができた。達成した教員が全体の60%未満。	1	登下校時や地域で自分から進んであいさつができる児童の割合が60%未満。	

特色ある学校づくり

健康や安全についての指導に努めるとともに、生活リズムを整えさせ、食育についての指導を進める	口腔の衛生管理を通して、健康を大切にする子どもを育てる	歯科保健活動と指導で給食後の歯みがきの習慣化を図る。 【保体】	4	保体部提案の指導計画を活用して、保健指導を行い、毎日給食後に歯みがき指導を行う。教員の80%以上が達成。	4	給食後の歯みがきを進んですることができた児童の割合が80%以上。
			3	保体部提案の指導計画を活用して、保健指導を行い、毎日給食後に歯みがき指導を行う。教員の70%以上が達成。	3	給食後の歯みがきを進んですることができた児童の割合が70%以上。
			2	保体部提案の指導計画を活用して、保健指導を行い、毎日給食後に歯みがき指導を行う。教員の60%以上が達成。	2	給食後の歯みがきを進んですることができた児童の割合が60%以上。
			1	保体部提案の指導計画を活用して、保健指導を行い、毎日給食後に歯みがき指導を行う。達成した教員が全体の60%未満。	1	給食後の歯みがきを進んですることができた児童割合が60%未満。
	学校給食の力を生かして、豊かな心と健康な体を育てる	給食時間や給食指導等に食の重要性を理解し、感謝の気持を育てる。 【保体】	4	特別活動や給食時間等を活用したり、教科と関連を図ったりしながら全体計画に従って、食に関する指導を行う。教員の80%以上が達成。	4	残さず食べられるようになった児童の割合が80%以上。
			3	特別活動や給食時間等を活用したり、教科と関連を図ったりしながら全体計画に従って、食に関する指導を行う。教員の70%以上が達成。	3	残さず食べられるようになった児童の割合が70%以上。
			2	特別活動や給食時間等を活用したり、教科と関連を図ったりしながら全体計画に従って、食に関する指導を行う。教員の60%以上が達成。	2	残さず食べられるようになった児童の割合が60%以上。
			1	特別活動や給食時間等を活用したり、教科と関連を図ったりしながら全体計画に従って、食に関する指導を行う。達成した教員が全体の60%未満	1	残さず食べられるようになった児童の割合が60%未満
	授業改善と外遊びの奨励による体力づくりを進める	体力の向上を意識した日々の取り組みを行う（準備運動・学年スポーツ集会・外遊びを通して）。	4	体育の授業では指導方法を工夫したり、遊び時間の確保や集会などを計画したりして、児童の運動量を十分に確保する。教員の80%以上が達成。	4	一日一回は外遊びをしている児童の割合が80%以上。
			3	体育授業では指導方法を工夫したり、遊び時間の確保や集会などを計画したりして、児童の運動量を十分に確保する。教員の70%以上が達成。	3	一日一回は外遊びをしている児童の割合が70%以上。
			2	体育授業では指導方法を工夫したり、遊び時間の確保や集会などを計画したりして、児童の運動量を十分に確保する。教員の60%以上が達成。	2	一日一回は外遊びをしている児童の割合が60%以上。
			1	体育授業では指導方法を工夫したり、遊び時間の確保や集会などを計画したりして、児童の運動量を十分に確保する。達成した教員が60%未満。	1	一日一回は外遊びをしている児童の割合が60%未満。